

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公開番号】特開2017-62012(P2017-62012A)
 【公開日】平成29年3月30日(2017.3.30)
 【年通号数】公開・登録公報2017-013
 【出願番号】特願2015-188523(P2015-188523)
 【国際特許分類】

F 1 6 H 3/66 (2006.01)

B 6 0 K 17/08 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 3/66 A

B 6 0 K 17/08 M

【手続補正書】
 【提出日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

駆動源に駆動連結された入力部材と、
 車輪に駆動連結されたディファレンシャル装置と、
 前記入力部材から前記ディファレンシャル装置までの第 1 の動力伝達経路上に設けられ、
 前記第 1 の動力伝達経路を接断可能な変速機構と、
前記第 1 の動力伝達経路上に設けられ、前記入力部材及び前記ディファレンシャル装置とは別軸上に配置された中間軸と、

前記入力部材及び前記中間軸と別軸上に配置されると共に、前記入力部材及び前記中間軸のそれぞれに駆動連結可能な機械式オイルポンプと、

前記入力部材から前記機械式オイルポンプまでの第 2 の動力伝達経路上に設けられ、前記第 2 の動力伝達経路を接断可能な第 1 の接断手段と、

前記機械式オイルポンプを介さない前記中間軸から前記第 1 の接断手段までの第 3 の動力伝達経路上に設けられ、前記第 3 の動力伝達経路を接断可能な第 2 の接断手段と、を備える車両用駆動装置。

【請求項 2】

前記第 1 の接断手段及び前記第 2 の接断手段は、それぞれ、内スリーブ及び外スリーブを有するワンウェイクラッチであり、

前記第 1 の接断手段の前記内スリーブは、前記入力部材に駆動連結され、

前記第 2 の接断手段の前記外スリーブは、前記中間軸に駆動連結され、

前記第 1 の接断手段の前記外スリーブと前記第 2 の接断手段の前記内スリーブとは、一体回転される、請求項 1 に記載の車両用駆動装置。

【請求項 3】

前記中間軸は、前記変速機構のカウンタギヤと噛合するドリブンギヤと、前記ディファレンシャル装置の入力ギヤと噛合し前記入力ギヤより小径にされたドライブギヤとを有するカウンタ軸であり、

前記カウンタ軸は、前記第 3 の動力伝達経路において前記カウンタギヤと前記第 2 の接断手段との間に介在される、請求項 1 又は 2 に記載の車両用駆動装置。

【請求項 4】

前記第 3 の動力伝達経路上に、無端伝導部材が介在される、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の車両用駆動装置。

【請求項 5】

前記第 2 の接断手段は、前記無端伝導部材を張架する複数の回転要素のうち、前記第 3 の動力伝達経路上で前記駆動源に近い方の回転要素に設けられる、請求項 4 に記載の車両用駆動装置。

【請求項 6】

前記第 3 の動力伝達経路は、歯車列により構成される、請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の車両用駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本開示に係る車両用駆動装置は、駆動源に駆動連結された入力部材と、車輪に駆動連結されたディファレンシャル装置と、前記入力部材から前記ディファレンシャル装置までの第 1 の動力伝達経路上に設けられ、前記第 1 の動力伝達経路を接断可能な変速機構と、前記第 1 の動力伝達経路上に設けられ、前記入力部材及び前記ディファレンシャル装置とは別軸上に配置された中間軸と、前記入力部材及び前記中間軸と別軸上に配置されると共に、前記入力部材及び前記中間軸のそれぞれに駆動連結可能な機械式オイルポンプと、前記入力部材から前記機械式オイルポンプまでの第 2 の動力伝達経路上に設けられ、前記第 2 の動力伝達経路を接断可能な第 1 の接断手段と、前記機械式オイルポンプを介さない前記中間軸から前記第 1 の接断手段までの第 3 の動力伝達経路上に設けられ、前記第 3 の動力伝達経路を接断可能な第 2 の接断手段と、を備える。